



理想郷からの眺めは最高

新緑の南房総を満喫 ふれあいウォーク

町教育委員会と横芝町明るい県民づくり推進員連絡協議会（大藤和一会長）の共催による第11回ふれあいウォークが、5月19日の日曜日に行われ、子どもからお年寄りまでの130名が参加しました。

ふれあいウォークは、家族ぐるみで気楽に楽しく、運動しながら体力づくりをすることを目的に、平成3年から毎年春と秋の2回行われており、今回は、変化に富んだ入江と老松が美しい「鶴原理想郷」の約7キロメートルのコースで実施されました。

当日は、朝から絶好のハイキング日和に恵まれ、参加者は午前8時、集合場所の文化会館からバス3台に分乗し出発。10時30分にこのコースの起点である鶴原駅から歩き始めました。

この地は、房総随一の眺めと言わ

れる美しいリアス式海岸で、深い入江の奥に静かな波をたたえ「房総の油壺」などとも言われているところで、この日も当町のハイカーの外にも大勢のハイキングを楽しむ家族連れなどが、新緑に映えるすばらしい景色を満喫していました。

リュック姿の参加者は、約2時間で7キロメートルのコースを歩き終え、海中公園近くの浜辺で、各自が持ち寄った昼食を取り、午後はそれぞれが、海中公園を自学したり、海岸で磯遊びをしたりして、午後2時、横芝への帰路につきました。

また、今回で連続10回目の参加となる実川菊枝さん（上町1）と伊藤久子さん（上町4）に教育長から記念品が贈られ、お二人は「次回もまた参加したいね」と話していました。



▶ 潮の香りが漂う草木の中を散策



◀ 浜辺での昼食



▶ 出発を前に説明を受ける参加者